



更に一步学校へ近づいていく校舎

むき出しのレンガに比べて、学校に対して重厚な印象を受けます。セメントはグレーですが、外装と内装が終了次第、子どもたちが喜んで通えるように塗装を行いますので、ご安心ください。職人たちの手により作成されたセメントは、むき出しの土台を包み込んでいきます。学校へは扉や窓枠などの木材も到着しましたので、建物が学校へ更に近づいていく姿を近日中に報告できるかと思えます。



←全体に左官を行うのは困難なので、日数を分けて行います。





←↓子どもたちは新しい校舎での勉強に備えて、今日も施設にきています。



↓彼も学校へ行きたいようです。



成長を楽しみに  
可愛い子には旅をさせろという言葉もありますが、お母さんは早く子どもを学校へ行かせたいと言っています。学校生活は子どもたちには新たな扉を開く一歩となるからだと言います。仲間との共同生活、生活に必要な知識など得られるものが多くあります。  
学校生活が始まり、子どもから今日何があったのか、ゆっくり聞くことがお母さんの楽しみだといっていました。



学校建設は今回のように子どもたちへ希望を与えるだけでなく、親や親戚たちへも楽しみを増やすことが出来るそうです。完成に一步近づく度に、子どもたちがいつできるの？何日なのという質問が教育施設の先生やお寺のご住職へ質問をするそうです。最近では大人も仕事の合間を抜けて、小学校の状態を確認するために訪問を行っているそうです。皆様のご期待に添えるためにも職人たちは今日も張り切っています。

どうもありがとうございます。